

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会  
2020年度事業報告  
(2020年4月1日～2021年3月31日)

【概 括】

I 組織

2020年度会員目標を146,000人とし、会員総数は146,206人（対前年度比・約3%増）※グラフ1となり、2月加入をもって目標を達成した。2020年度は、4月の保険料改定や新型コロナウイルス感染拡大の影響で施設や特別支援学校等への説明会を行うことが困難であったため、年度会員目標達成が難しいのではないかと考えられた。しかし、このような状況下で年度会員目標が達成できたのは、各サポート協会、JIC、AIGのご尽力によるものと思われる。

なお、Cプラン加入率は年々増加しており、2018年度は年度全会員数の約3%、2019年度は約5%、2020年度は約7%となった。

グラフ1 会員数の推移

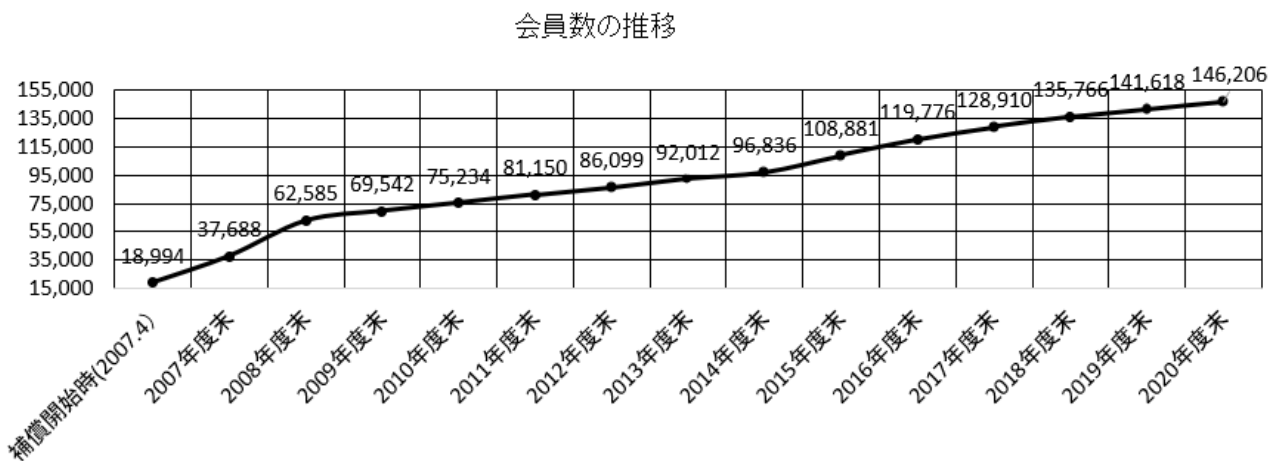


表1 ブロック別会員数の推移

ブロック名	補償開始時(2007.4)	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
北海道ブロック		369	1,296	1,567	1,714	1,876	2,513	3,118	3,815	4,792	4,766	5,164	5,587	5,884	6,258
東北ブロック	2,821	3,938	5,419	6,609	8,252	8,947	9,563	10,131	10,568	12,062	11,985	12,591	13,444	14,151	14,991
関東甲越ブロック	16,173	20,402	32,440	33,568	34,868	36,103	37,284	38,353	39,633	43,619	43,303	45,179	46,775	48,027	48,944
中部ブロック		8,277	9,414	10,443	11,003	11,379	12,048	13,041	13,850	17,555	17,445	19,083	20,172	21,298	22,356
近畿・中国・四国ブロック		0	5,917	7,311	8,426	11,079	11,864	13,067	13,940	24,971	24,758	28,266	30,389	31,577	32,407
九州ブロック		4,702	8,099	10,044	10,971	11,766	12,827	14,302	15,030	17,670	17,519	18,827	19,399	20,681	21,250

## II 事業

### 1 サポート協会における事業の実施

2020年度はコロナ禍における事業実施となり、事業総数等は各サポート協会の事業報告待ちとなるため2021年5月以降となる。

コロナ禍の中、例年実施されている事業を中止しているサポート協会が多かったが、オンライン研修や人数を減らしての実施等、工夫をして事業を行っていたところもあった。そういった中、秋田県、福島県、ながさきが新しく広報紙を発行した。これにより21サポート協会が単独での発行を行っていることになった。他団体の広報紙内にサポート協会広報を掲載しているサポート協会を含めると23サポート協会となった。

### 2 ブロック会議

当初の予定では、9月から11月にかけて開催の予定であった。しかしながら、コロナ禍の中での開催は困難であると判断し、8月の三役会にて2020年度のブロック会議の中止を決定した。その際、2021年度のブロック会議担当サポート協会については、2020年度担当サポート協会にそのままお願いすることとし、事務局より各サポート協会に連絡を行った。

会議は開催しなかったが、三者会議アンケート結果のまとめや事業実施の総括等、例年配布している資料を各サポート協会に配布した。

また、2020年度は、2021年度～22年度のブロック推薦理事の選出を行うこととなっていたが、こちらについてはブロック会議担当のサポート協会に一任した。

### 3 啓発事業

#### (1) 広報紙「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行

7月1日付で発行し、45サポート協会及びジェイアイシーグループ等に162,800部を送付した。

なお、各サポート協会に既定の当会広報紙発送費用、合計1,643,255円、助成した。

#### (2) 広告掲載

##### ア 集会

2020年度、他団体の集会広告については、毎年広告掲載している大会が新型コロナウイルスの影響で全て中止または延期になったため、集会における広告掲載は、行うことができなかった。

##### ① 日本知的障害者福祉協会

「全国知的障害関係施設長等会議」→ 中止

「全国知的障害福祉関係職員研究大会」→ 延期

- ② 全国手をつなぐ育成会連合会  
「第7回全国大会」 → 中止  
「全国手をつなぐ連合会事業所協議会全国研修大会」 → 中止

#### イ 冊子

- ① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」（年間）
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」（年間）

#### ウ 週刊福祉新聞 暑中見舞名刺広告・年賀名刺広告

### (3) ホームページ

2020年4月20日付及び2021年2月2日付にて「お知らせ」ページに“「生活サポート総合補償制度」新型コロナウイルス感染症 特別措置について”を掲載した。2020年度末には、この内容を「生活サポート総合補償制度とは」のページに、2021年度「生活サポート総合補償制度」パンフレットとともに掲載した。

「サポート協会及びブロックの活動」のページには、主催事業助成の申請があった事業を中心に8事業を掲載した。

### 4 アールブリュット展

2020年度から、各サポート協会から5作品以内を選び、当会に応募してもらう形式に変更した。18サポート協会から70作品の応募があり、当会ホームページの「お知らせ」に作品展として全作品を掲載した。

毎年総会での投票で入賞作品を決定していたが、2020年度は総会が中止となった。そのため、各サポート協会の理事や事務局員5名以内に1名あたり5作品まで投票、その結果を各サポート協会から当会までメール送信してもらい、得票数が多かった3作品を入賞作品とした。

入賞者には当会から賞状とともに、AIG及びJICより副賞が授与された。

### 5 カレンダー作成（試行事業）

アールブリュット展に応募された作品を掲載した2021年B3版カレンダーを5,000部作成し、各サポート協会、作者、関係者に配布した。概ね好評であったため、2021年度も同様の事業を行うこととなった。2020年度は、初の試みということで作成部数、完成時期、サポート協会から会員への送料及びカレンダーを入れる段ボール費用等の課題もあり、次年度以降は課題解決に取り組んでいく。

### 6 「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策

（三者プロジェクト—拡大MVP委員会、三者会議—の実施）

#### ア 拡大MVP委員会

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で大人数での会議開催が困難であったため、予定されていた拡大MVP委員会をとりやめた。

#### イ 三者会議

6月から8月にかけて各サポート協会、担当のAIG、JICの三者で行い、終了後のアンケート結果をブロック会議資料として配布した。

関東のサポート協会では、オンラインで実施したサポート協会が多く、当会事務局職員も栃木県、埼玉県の会議に参加した。

### 7 事業助成（試行事業）

2020年度の主催事業助成の総額は、1,015,078円となった。

通常7月末には申請を締め切り8月のMVP委員会で助成金額等を決定していたが、2020年度は、各サポート協会の事業実施においても新型コロナウイルス感染拡大の影響が出ていると考え、10月末に申請を締め切り、12月のMVP委員会で助成金額を決定した。その結果、13の助成申請となった。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響で申請のあった2事業が中止となり、うち1事業は中止前に支出があったため、実施要項に基づき、半額の5万円を助成した。また、2事業が申請とは事業開催方法を変更、2事業が申請決定後、予定していた事業が開催できず、事業内容変更の再申請を行い、その後の臨時のMVP委員会、三役会で承認された。

なお、2017年度から2020年度まで試行助成として本事業を行っていたが、各サポート協会に本事業について理解が深まったと判断し、2021年度からは本事業として実施する。

### 8 弁護士の委託

2019年度末、一部のサポート協会からB及びCプランにおける弁護士費用等補償について、「会員からサポート協会に弁護士の紹介要望の可能性があるが、紹介できる弁護士がいないので全国サポート協会に対応してほしい」旨の要望を受け、6ブロック各1名の窓口となる弁護士を決め、委託した。

2020年度の実績は、関東での2件のみであった。（詳細は補足資料参照）

この事業に関しては、各サポート協会への情宣、運用方法についても課題があり、2021年度以降改善していく必要がある。

### 9 小規模サポート協会への支援

2020年度は、9月末時点で

会員数1,000人未満の7サポート協会に計589,100円を支援した。

### 10 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

2020年開催予定であったオリンピック、パラリンピック延期され、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」は引き続き書面による会議を実施しており、当会も参加した。

### Ⅲ その他

#### 1 事務局事務所移転

2020年5月12日に、当会事務局事務所を第一内神田ビル5階から隣に新しく建設された廣瀬ビル4階に移転した。引越作業日は緊急事態宣言発令時であったが、大きな問題もなく約半日で作業を完了することができた。6月半ばには、変更登記や役所への書類提出、関係者への移転通知等が終了した。

なお、移転費用総額は3,500,594円の出費となり、移転積立金1,000万円を活用した。

#### 2 特別支援金の給付

コロナ禍における各サポート協会の業務継続に対し、会員数に関係なく一律10万円を12月23日振り込みにて拠出した。各サポート協会の有効な活用を目的とした特別な支援なので、支援金の使用方法や収支報告については問わなかった。

## 【会議実施等詳細】

### 1 2020年度定時社員総会（中止） 書面議決

可決日時：2020年5月28日（木）

議案事項：・2019年度事業報告及び決算報告・監査報告  
・理事変更承認

### 2 理事会

	日時	場所	内容
第1回	2020年4月23日 (木)	電磁的記録	・2019年度事業報告・決算報告(案) ・2020年度定時社員総会 他
第2回	2021年3月3日(水) 13:30~16:30	オンライン (ZOOM)	・2020年度事業の評価反省 ・2021年度事業計画 他

### 3 三役会

	日時	場所	内容
第1回	2020年4月8日(水)	書面議決	・2019年度事業報告・決算報告(案) ・不測の事態における理事会及び総会 の中止手順 他
第2回	2020年8月5日(金) 14:00~17:00	事務局事務所 オンライン (ZOOM)	・2020年度ブロック会議延期 ・今後の会議予定 他
第3回	2020年12月9日(水) 13:30~17:00	事務局事務所 オンライン (ZOOM)	・主催事業助成 ・見舞金規程(案) ・今後の会議予定 他
第4回	2021年2月4日(木) 13:30~16:30	オンライン (ZOOM)	・2020年度事業等の評価・反省 ・2021年度事業計画・予算(案) 他

### 4 MVP委員会

#### 第1回MVP委員会

日時：2020年12月9日（水） 10:00~12:00

場所：オンライン（ZOOM）

内容：2020年度主催事業助成について

### 5 研修会

毎年、総会終了後に社員向けに研修会を実施しているが、2020年度は総会が中止となったため、実施できなかった。

2020年度収支計算書 ー運営の部ー

2020年4月1日から2021年3月31日まで

収入

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	2020年度決算額	2020年度予算額	予 算 額 増 減	摘 要
<b>運営費収入</b>		<b>29,102,500</b>	<b>28,997,700</b>	<b>104,800</b>	
	入 会 金	0	0	0	
	年 会 費	29,102,500	28,997,700	104,800	200×14,819人=28,963,800 100×1,387人= 138,700
<b>雑 収 入</b>	<b>雑 収 入</b>	<b>38</b>	<b>1,000</b>	<b>△ 962</b>	普通預金利息
<b>繰 越 金</b>	<b>前 期 繰 越 金</b>	<b>8,250,512</b>	<b>8,250,512</b>	<b>0</b>	2019年度繰越金
<b>合 計</b>		<b>37,353,050</b>	<b>37,249,212</b>	<b>103,838</b>	

支出

大 科 目	中 科 目	2020年度決算額	2020年度予算額	予 算 額 増 減	摘 要
<b>事業費</b>		<b>11,014,507</b>	<b>11,271,000</b>	<b>△ 256,493</b>	
	入 会 金 返 金	0	0	0	
	年 会 費 返 金	16,700	20,000	△ 3,300	脱退・二重払込等による年会費の返金
	事 業 助 成	1,015,078	2,506,000	△ 1,490,922	サポート協会主催事業助成・新規広報紙作成助成
	組 織 強 化 費	589,100	600,000	△ 10,900	小規模サポート協会への支援金
	啓 発 宣 伝 費	728,752	1,000,000	△ 271,248	広告掲載、HP維持等
	研 修 費	0	200,000	△ 200,000	研修会講師謝礼 研修会冊子購入費等
	助 成 金	4,500,000	1,000,000	3,500,000	ブロック活動費助成→2020年度特別助成
	M V P 委 員 会	28,687	1,000,000	△ 971,313	委員会旅費等
	就 労 支 援	600,000	600,000	0	67' ロック弁護士委託費用
	当 会 事 業 費	910,580	1,000,000	△ 89,420	カンパ'-作成費 送料 'カン'-'ホ'-ル代 発送助成金
	広 報 紙 送 付 助 成 金	1,643,255	2,070,000	△ 426,745	広報紙発送費用助成
	支 払 手 数 料	982,355	1,275,000	△ 292,645	振込手数料等
<b>管理費</b>		<b>13,430,847</b>	<b>20,041,000</b>	<b>△ 6,610,153</b>	
	人 件 費	5,332,282	5,364,000	△ 31,718	職員2名分、事務局長社会保険手当、通勤手当
	法 定 福 利 費	490,472	500,000	△ 9,528	社会保険料等
	福 利 厚 生 費	136,310	160,000	△ 23,690	購読料、健康診断等
	総 会 費	△ 60,564	2,700,000	△ 2,760,564	総会（交通費1名分、会場費）等
	会 議 費	294,317	3,000,000	△ 2,705,683	理事会、三役会、委員会（会場、交通費）等
	旅 費 交 通 費	0	1,101,000	△ 1,101,000	ブロック会議旅費→ブロック会議中止
	賃 借 料	3,214,200	3,102,000	112,200	家賃
	水 道 光 熱 費	128,021	110,000	18,021	水道、電気料
	通 信 運 搬 費	301,819	300,000	1,819	電話、切手、宅配便等
	環 境 管 理 費	△ 11,188	24,000	△ 35,188	事務所管理費(セコム)→旧事務所セコム返金
	リ ー ス 料	242,196	243,000	△ 804	事務機器
	印 刷 製 本 費	1,128,204	1,176,000	△ 47,796	広報紙作成費用等
	消 耗 品 費	357,078	450,000	△ 92,922	複合機使用料、イラストレータ利用更新費、事務用品費等
	備 品	0	0	0	
	会 員 管 理 費	397,700	410,000	△ 12,300	会員管理費、AIGF'-が送料
	顧 問 ・ 指 導 料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租 税 公 課	80,000	111,000	△ 31,000	税金、法務局変更登記申請手数料
	涉 外 費	0	80,000	△ 80,000	慶弔・贈答品等→使用なし
	引 当 金	120,000	120,000	0	退職引当金
	雑 費	200,000	10,000	190,000	雑費
<b>予 備 費</b>		<b>0</b>	<b>5,937,212</b>	<b>△ 5,937,212</b>	
<b>次期繰越金</b>		<b>12,907,696</b>		<b>12,907,696</b>	
<b>合 計</b>		<b>37,353,050</b>	<b>37,249,212</b>	<b>103,838</b>	

2020年度収支計算書 ー保険料の部ー

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	2020年度決算額	2020年度予算額	予 算 増 減	決算摘要
収入	預り保険料入	2,813,445,460			下記のとおり
	保険料	2,800,370,960	2,758,282,860	42,088,100	
	返戻金	13,074,500			
支出	預り保険料出	2,813,445,460			
	保険料	2,800,370,960	2,758,282,860	42,088,100	
	返戻金	13,074,500			

※保険料の部 摘要詳細

保険料	<p>合計金額内訳 決算書保険料合計(146,184人分)                      2,799,586,640円(146,143人分)「2020年4月から2021年1月入金までの2020年度保険料」                      + 784,320円(41人分)「2021年3月入金(2021年度保険料)」</p> <p>参考：「2020年度保険料合計」(146,206人分)                      2,799,586,640円(146,143人分)「2020年4月から2021年1月入金までの2020年度保険料」                      + 1,176,180円(63人分)「2020年3月入金(2020年度保険料)」                      =2,800,762,820円</p>
返戻金	内訳 (2020年度返戻金一覧 参照)

2020年度収支計算書 ー懇親会の部ー

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	小科目	金 額	摘要
収 入			131,393	
	前期繰越		131,393	2019年度繰越
支 出			103	
	支払手数料		103	
		残高証明書発行手数料		103
次期繰越金			131,290	ゆうちょ銀行： 897円 三菱UFJ銀行：130,393円



# 貸借対照表

2021年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	12,989,943	8,295,464	4,694,479
流動資産合計	12,989,943	8,295,464	4,694,479
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職金積み立て	870,033	750,016	120,017
定期預金	28,434,550	31,257,751	△ 2,823,201
特定資産合計	29,304,583	32,007,767	△ 2,703,184
(3) その他固定資産			
什器備品	377,150	679,455	△ 302,305
保証金	1,260,000	675,000	585,000
その他固定資産合計	1,637,150	1,354,455	282,695
固定資産合計	30,941,733	33,362,222	△ 2,420,489
資産合計	43,931,676	41,657,686	2,273,990
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受年会費	8,200	12,600	△ 4,400
預り金	74,047	32,352	41,695
流動負債合計	82,247	44,952	37,295
2. 固定負債			
退職給付引当金	870,005	750,005	120,000
固定負債合計	870,005	750,005	120,000
負債合計	92,252	794,957	157,295
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	42,979,424	40,862,718	2,116,706
(うち特定資産への充当額)	(29,064,550)	(31,827,751)	(△2,763,201)
正味財産合計	42,979,424	40,862,729	2,116,695
負債及び正味財産合計	43,931,676	41,657,686	2,273,990

# 正味財産増減計算書

2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	29,102,500	28,120,600	981,900
入会金収入	0	0	0
年会費収入	29,102,500	28,120,600	981,900
雑収入	2,448	2,705	△ 257
受取利息	2,448	2,705	△ 257
<b>経常収益計</b>	<b>29,104,948</b>	<b>28,123,305</b>	<b>981,643</b>
(2) 経常費用			
事業費	11,014,507	8,683,538	2,330,969
入会金返金	0	0	0
年会費返金	16,700	18,400	△ 1,700
事業助成	1,015,078	1,843,436	△ 828,358
組織強化費	589,100	536,400	52,700
啓発宣伝費	728,752	871,932	△ 143,180
研修費	0	0	0
助成金	4,500,000	1,000,000	3,500,000
MVP委員会	28,687	533,560	△ 504,873
就労支援	600,000	0	600,000
当会事業費	910,580	0	910,580
広報紙送付助成金	1,643,255	2,885,424	△ 1,242,169
支払手数料	982,355	994,386	△ 12,031
管理費	13,430,847	18,343,926	△ 2,688,645
給与手当	5,332,282	4,891,265	441,017
法定福利費	490,472	521,544	△ 31,072
福利厚生費	136,310	139,440	△ 3,130
総会費	△ 60,564	3,002,743	△ 3,063,307
会議費	294,317	2,071,860	△ 1,777,543
旅費交通費	0	1,608,360	△ 1,608,360
賃貸料	3,214,200	2,113,500	1,100,700
水道光熱費	128,021	99,565	28,456
通信運搬費	301,819	243,132	58,687
環境管理費	△ 11,188	182,325	△ 193,513
リース料	242,196	250,516	△ 8,320
印刷製本費	1,128,204	1,154,842	△ 26,638
消耗品費	357,078	256,159	100,919
会員管理費	397,700	480,585	△ 82,885
顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0
租税公課	80,000	81,650	△ 1,650
渉外費	0	40,440	△ 40,440
引当金	120,000	120,000	0
雑費	200,000	6,000	194,000
※移転費用	2,240,594	0	2,240,594
減価償却費	302,305	318,465	△ 16,160
<b>経常費用計</b>	<b>26,988,253</b>	<b>27,345,929</b>	<b>△ 357,676</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	2,116,695	777,376	1,339,319
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>2,116,695</b>	<b>777,376</b>	<b>1,339,319</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>△ 1</b>	<b>1</b>
当期一般正味財産増減額	2,116,695	777,375	1,339,320
一般正味財産期首残高	40,862,729	40,085,354	777,375
一般正味財産期末残高	42,979,424	40,862,729	2,116,695
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	42,979,424	40,862,729	2,116,695

# 財産目録

2021年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	金	額
(流動資産)			
預金			12,989,943
	当座預金		27,585
	ゆうちょ銀行	27,585	
	00140-9-374339		
	普通預金		12,962,358
	三菱UFJ銀行	4,486,665	
	神田支店 0148931		
	三菱UFJ銀行	8,475,693	
	神田支店 0148944		
流動資産合計			12,989,943
(固定資産)			
特定資産			
	退職金積み立て		870,033
	退職給付引当資産(一般)		
	東法連特定退職金共済会	630,000	
	三菱UFJ銀行	240,033	
	神田支店0089584		
	退職給付引当資産		
	(定期預金)		
	定期預金		28,434,550
	三菱UFJ銀行	7,175,847	
	神田支店0100740		
	三菱UFJ銀行	16,257,854	
	神田支店0057779		
	三菱UFJ銀行	5,000,849	
	神田支店0100753		
その他固定資産			
	什器備品		377,150
	保証金		1,260,000
固定資産合計			30,941,733
資産合計			43,931,676
(流動負債)			
	前受年会費		8,200
			74,047
	健康保険料	16,283	
	厚生年金保険料	17,334	
	源泉所得税	380	
	住民税	40,050	
流動負債合計			82,247
(固定負債)			
	退職給付引当金		870,005
固定負債合計			870,005
負債合計			952,252
正味財産			42,979,424

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会  
2021年度事業計画

【基本方針】

1 理念

Mission (ミッション・使命) =知的障害児者生活サポート

Vision (ヴィジョン・将来像) =全国(組織)

Passion (パッション・熱情) =協会(熱い情の協働体)

- 2 組織では、全国サポート協会と各サポート協会間の一層の連携
- 3 事業では、当会定款第2条(目的・事業)を実施・継続
- 4 AIG損害保険株式会社並びにジェイアイシーグループと協議を継続

【活動内容】

1 組織の運営

当会の組織、事業及び財政など会務の適正な運営を図るため、定時社員総会・理事会また必要に応じて三役会等を開催する。

なお、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、開催方法についてはオンライン、書類承認等も検討する。

- (1) 定時社員総会 1回
- (2) 理事会 2回

2 事業の実施

当会は、定款第2条の知的障害児者・自閉症児者(以下「障害者」という)とその家族の生活安定と福祉の推進に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- ① 障害者とその家族の生活安定のための各種の事業
- ② 障害者の各種制度に関する調査研究並びに意見具申
- ③ 社員の役職員の研鑽等、社員の健全な発展に資する各種の事業
- ④ 社員の発展に必要な援助及び指導
- ⑤ その他、当会の目的を達成するために必要な事業

(1) 相談支援事業の実施

ブロック活動の促進に協力

全国の6ブロックでは、ブロック毎に会議を開催し、報告・協議等を行う。

なお、理事会や総会と同様に新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、開催方法についてはオンライン開催等も検討する。

ア ブロック活動の推進に協力し、必要な情報を提供する。

イ ブロック活動に対し、助成金を拠出する。

ウ 事務局職員の研修等を必要に応じ、具体的目的があればブロック毎に開催

し、必要な情報を提供する。

エ 全国サポート協会ホームページの「サポート協会及びブロック会議の活動」にて各ブロックの会議報告を行う。

## (2) 啓発事業の実施

ア 広報紙「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行、配布：年1回  
総会やアールブリュット展入賞作品や、会員へ有用な情報を発信する。  
また、2019年度より実施している当会広報紙発送費用助成を引き続き実施する。

イ ホームページ

「サポート協会及びブロック会議の活動」にてサポート協会の事業を一般に広く公開する。また、「お知らせ」ページで、社員に必要な情報を即時発信する。

ウ 広告掲載

(ア) 集会

① 日本知的障害者福祉協会

「全国職員研究大会（2022年1月27日・28日 京都）」

② 全国手をつなぐ育成会連合会「全国大会(2021年度は実施しない)」

「事業所協議会全国研修大会（2021.1 現在実施未定）」

(イ) 冊子

① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」

② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」

「事業所協議会ニュース」

(ウ) 週刊福祉新聞「暑中見舞名刺広告」「年賀名刺広告」

(エ) 上記以外に新規会員開拓に効果が見込める方法があれば検討する。

## (3) 組織強化の実施

ア 三者プロジェクト（「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策）の実施

「生活サポート総合補償制度」の長期的安定の施策について三者（AIG 損保・JIC・全国サポート協会）で協議を行う。

(ア) 新規会員の増員

会員（加入者）の目標は、2021年度150,000人とする。

特に若年層の新規会員（加入者）の開拓を推進する。そのための施策を協議、検討する。

(イ) 制度安定のための課題改善

制度安定に於いて、特に重要な課題である保険利用率の改善について、三者で検証し、協議を行う。

イ 2020年度「生活サポート総合補償制度」保険料改定による影響

2020年度は保険料改定で心配された会員数の減少はなかった。

ウ サポート協会（社員）加盟の促進と未加盟県新規加入希望者の対応

全都道府県の当会加盟をめざし、未加盟の3県（岡山、広島、島根）へのサポート協会（社員）設立の働きかけを近隣のサポート協会及び担当のジェイアイシーグループと連携して行う。

また、未加盟県の新規加入希望者について、今後の対応を協議する。

- (4) 「会員管理システム」活用の推進及びジェイアイシーグループとの連携により適正な会員（加入者）の情報管理に努める。

3 小規模サポート協会への支援

小規模サポート協会〈会員（加入者）数1,000人以下〉へ基盤強化・拡大を図るため、支援する。

- ・支援内容 年間 会員（加入者）1人100円(200円から変更)
  - ・会員（加入者）数の基準日 毎年8月31日(現在)
- 尚、最高限度額を100,000円、最低保障額を50,000円  
(1,000人を超えた年度で支援終了)

4 アールブリュット作品展

会員、非会員にかかわらず作品を募集し、応募のあった全作品を当会ホームページに掲載する。また、入賞作品を2022年度分のパンフレット及び広報紙（サポ協だより）に掲載する。

5 MVP委員会の実施

- (1) 各サポート協会の主催事業支援助成について協議する。  
(2) 今後当会が実施する事業について協議する。  
(3) 拡大MVP委員会に於いては、委員は三者プロジェクトの各ブロック代表者として、AIG損保・JICとともに「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策について協議する。

6 サポート協会事業実施への助成

各サポート協会が行っている主催事業に対して全国サポート協会から総額200万円の助成を行う。特に、主催事業の1つとして新たに広報紙を作成したサポート協会には申請をお願いしたい。

なお、2020年度に於いて、助成総額が200万円に満たなかったため、残額を追加した助成金額とする。

7 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

2020年のオリンピック・パラリンピックが延期になったため、引き続き「20

20年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の構成団体として、障害者文化芸術活動を推進するための啓発活動、事業を推進する。

《試行事業》

1 当会事業（カレンダー作成）

2020年度に引き続き、応募があった会員のアールブリュット作品を基にカレンダーを作成する。

2020年度の課題を踏まえ、会員等への送付はサポート協会を通して行っていただくため、各サポート協会に送料として最高5万円まで助成する。

2 就労支援事業（弁護士委託）

2020年度より弁護士の委託事業を就労支援事業の1つとしており、6ブロックのサポート協会から当会に弁護士紹介依頼があった場合、各ブロックの弁護士を紹介する。

【2021年度会議予定表】

期日	会議名	場所
4月7日(水)	監査	全国サポート協会 事務所
	第1回三役会	
4月26日(月)	第1回理事会	品川区総合区民会館 第2講習室 →オンライン
5月31日(月)	定期社員総会	品川区総合区民会館 イベントホール →オンライン
6月~7月頃	拡大MVP委員会	新宿NSビル?
	第2回三役会	
9月17日(金)	北海道ブロック会議	北海道
10月14日(木) →再調整	東北ブロック会議	岩手県 オンライン予定
10月21日(木)	近畿・中国・四国ブロック会議	愛媛県 道後山の手ホテル
11月11日(木)	中部ブロック会議	富山県
11月18日(木)	関東甲越ブロック会議	埼玉県 ラフレ埼玉
11月25日(木)	九州ブロック会議	佐賀県
12月	MVP委員会	全国サポート協会 事務所
	第3回三役会	
2022年		
2月初旬	第4回三役会	全国サポート協会 事務所
3月初旬	第2回理事会	



一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2021年度収支予算 ー運営の部ー

2021年4月1日から2022年3月31日まで

収入

(単位：円)

大科目	中科目	2020年度予算額	2021年度 予算額	2020年度予算・ 2021年度予算 増減	摘要
運営費収入		28,997,700	29,857,800	860,100	
	入会金	0	0	0	
	年会費	28,997,700	29,857,800	860,100	200円×148,578人=29,715,600 100円×1,422人= 142,200 計29,857,800円
雑収入	雑収入	1,000	1,000	0	利息
繰越金	前期繰越金	8,250,512	12,907,696	4,657,184	2020年度繰越金
	合計	37,249,212	42,766,496	5,517,284	

支出

大科目	中科目	2020年度予算額	2021年度 予算額	2020補正予算・ 2021年度予算 増減	摘要
事業費		11,271,000	14,785,000	3,514,000	
	入会金返金	0	0	0	脱退・二重払込等による入会金の返金
	年会費返金	20,000	20,000	0	脱退・二重払込等による年会費の返金
	事業助成	2,506,000	2,980,000	474,000	サポート協会主催事業助成・新規広報紙作成助成
	組織強化費	600,000	650,000	50,000	小規模サポート協会への支援金
	啓発宣伝費	1,000,000	1,000,000	0	広告掲載、HP維持等
	研修費	200,000	200,000	0	研修会講師謝礼 研修会冊子購入費等
	助成金	1,000,000	1,000,000	0	ブロック活動費補助金(6ブロック)
	MVP委員会	1,000,000	1,000,000	0	委員会旅費等
	就労支援	600,000	600,000	0	6ブロック弁護士委託費用
	当会事業費	1,000,000	3,700,000	2,700,000	カレンダー作成費 送料 グラフィック代 発送補助金
	支援金	2,070,000	2,120,000	50,000	広報紙発送費用補助
	支払手数料	1,275,000	1,515,000	240,000	振込手数料等
管理費		20,041,000	20,460,000	419,000	
	人件費	5,364,000	5,386,000	22,000	職員2名分、事務局長社会保険手当 通勤手当
	法定福利費	500,000	510,000	10,000	社会保険料等
	福利厚生費	160,000	160,000	0	購読料、健康診断等
	総会費	2,700,000	2,700,000	0	総会(交通費1名分、会場費)等
	会議費	3,000,000	3,000,000	0	理事会、三役会、委員会(会場、交通費)等
	旅費交通費	1,101,000	1,100,000	△1,000	ブロック会議等
	賃借料	3,102,000	3,355,000	253,000	家賃他
	水道光熱費	110,000	120,000	10,000	水道、電気料
	通信運搬費	300,000	300,000	0	電話、切手、宅配便等
	環境管理費	24,000	0	△24,000	
	リース料	243,000	243,000	0	事務機器
	印刷製本費	1,176,000	1,216,000	40,000	広報紙作成費用等
	消耗品費	450,000	560,000	110,000	複合機使用料、イラストレータ/ZOOM年間更新費、事務用品費等
	会員管理費	410,000	410,000	0	会員管理費、AIGT送料
	顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租税公課	111,000	110,000	△1,000	税金、法務局変更登記申請手数料
	渉外費	80,000	80,000	0	慶弔・贈答品等
	引当金	120,000	120,000	0	退職引当金
	雑費	10,000	10,000	0	雑費
予備費		5,937,212	7,521,496	1,584,284	
	合計	37,249,212	42,766,496	5,517,284	

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会  
**2021年度収支予算 - 保険料の部 -**  
 2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

	大 科 目	2020年度予算額	2021年度予算額	増 減	摘 要
					2021年度会員目標 150,000 人 会員数は前年度月別比で算定し、保険料に乗算 プランA 4月 17,000 円 × 80,454 人 = 1,367,718,000 5月 15,060 円 × 163 人 = 2,454,780 6月 13,710 円 × 332 人 = 4,551,720 7月 12,330 円 × 183 人 = 2,256,390 8月 10,950 円 × 111 人 = 1,215,450 9月 9,590 円 × 117 人 = 1,122,030 10月 8,240 円 × 94 人 = 774,560 11月 6,860 円 × 105 人 = 720,300 12月 5,480 円 × 102 人 = 558,960 1月 4,120 円 × 78 人 = 321,360 2月 2,750 円 × 74 人 = 203,500 合計 81,813 人 1,381,897,050 プランB 4月 22,720 円 × 56,015 人 = 1,272,660,800 5月 20,160 円 × 267 人 = 5,382,720 6月 18,350 円 × 441 人 = 7,280,910 7月 16,510 円 × 252 人 = 3,691,800 8月 14,650 円 × 153 人 = 1,961,460 9月 12,820 円 × 155 人 = 1,706,550 10月 11,010 円 × 149 人 = 1,366,330 11月 9,170 円 × 138 人 = 1,012,920 12月 7,340 円 × 164 人 = 905,280 1月 5,520 円 × 116 人 = 424,560 2月 3,660 円 × 116 人 = 424,560 合計 57,966 人 1,296,817,890 プランC 4月 19,510 円 × 9,080 人 = 177,150,800 5月 17,480 円 × 202 人 = 3,530,960 6月 15,900 円 × 393 人 = 5,623,830 7月 14,310 円 × 126 人 = 1,601,460 8月 12,710 円 × 74 人 = 823,620 9月 11,130 円 × 60 人 = 572,400 10月 9,540 円 × 48 人 = 381,600 11月 7,950 円 × 54 人 = 343,440 12月 6,360 円 × 80 人 = 382,400 1月 4,780 円 × 60 人 = 190,200 2月 3,170 円 × 44 人 = 139,480 合計 10,221 人 190,740,190
収 入	保 険 料	2,290,843,380	<b>2,869,455,130</b>	578,611,750	
支 出	保 険 料	2,290,843,380	<b>2,869,455,130</b>	578,611,750	同 上